

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成25年10月11日

【四半期会計期間】 第33期第2四半期(自 平成25年6月1日 至 平成25年8月31日)

【会社名】 株式会社スリーエフ

【英訳名】 Three F Co.,Ltd.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 中 居 勝 利

【本店の所在の場所】 神奈川県横浜市中区日本大通17番地

【電話番号】 045(651)2111(代表)

【事務連絡者氏名】 取締役管理本部長兼経理部長 海老沢 克 恭

【最寄りの連絡場所】 神奈川県横浜市中区日本大通17番地

【電話番号】 045(651)2111(代表)

【事務連絡者氏名】 取締役管理本部長兼経理部長 海老沢 克 恭

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次		第32期 第2四半期 連結累計期間	第33期 第2四半期 連結累計期間	第32期
会計期間		自 平成24年3月1日 至 平成24年8月31日	自 平成25年3月1日 至 平成25年8月31日	自 平成24年3月1日 至 平成25年2月28日
営業総収入	(百万円)	12,976	12,149	24,397
経常利益	(百万円)	402	412	116
四半期純利益 又は当期純損失()	(百万円)	38	93	509
四半期包括利益又は包括利益	(百万円)	40	95	505
純資産額	(百万円)	5,781	5,283	5,212
総資産額	(百万円)	17,682	17,278	16,099
1株当たり四半期純利益金額 又は1株当たり当期純損失金額()	(円)	5.14	12.35	67.20
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額	(円)			
自己資本比率	(%)	31.8	29.7	31.4
営業活動による キャッシュ・フロー	(百万円)	1,092	2,017	0
投資活動による キャッシュ・フロー	(百万円)	498	178	638
財務活動による キャッシュ・フロー	(百万円)	182	231	394
現金及び現金同等物 の四半期末(期末)残高	(百万円)	2,013	2,175	568

回次		第32期 第2四半期 連結会計期間	第33期 第2四半期 連結会計期間
会計期間		自 平成24年6月1日 至 平成24年8月31日	自 平成25年6月1日 至 平成25年8月31日
1株当たり四半期純利益金額	(円)	15.00	20.39

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 営業総収入には、消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
また、潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、1株当たり当期純損失金額であり、また潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

なお、重要事象等は存在していません。

2 【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。なお、当社グループは、コンビニエンスストア事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載はしていません。

(1) 業績の状況

当第2四半期連結累計期間（平成25年3月1日から平成25年8月31日まで）におけるわが国経済は、金融緩和、財政政策をはじめとした各種政策により、輸出関連企業を中心とした業績改善が見られたものの、個人所得の停滞や個人消費の伸び悩みなど引き続き厳しい状況で推移いたしました。

このような環境の下、小売業界も業種を超えた競争がより一層厳しくなるなか、当社グループは経営ビジョン「スリーエフらしさの創出」の下、クリーンネスやフレンドリーサービス等の商売の基本に忠実なおもてなしに加え、食材や製造方法のこだわりなどの独自の価値を、お客様により伝わりやすくするために、オリジナル商品のブランドを「エフスタイル」に統一いたしました。また、お弁当や惣菜等の付加価値が高い「自家製」商品の拡大や、当社規模だから商品調達が可能な独自差別化商品の充実などにより、スリーエフならではの商品展開を図ってまいりました。

しかしながら、たばこのダウントレンドや首都圏の競合激化の環境などが、客数等のマイナス要因となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の営業総収入は不採算店の閉鎖による総店舗数減少等の影響により、前年同期比6.4%減の121億49百万円となりましたが、経営体質強化を目的とした事業コスト構造改革による経費削減や粗利益率の改善効果等により、営業利益は前年同期比5.0%増の3億87百万円、経常利益は前年同期比2.7%増の4億12百万円となり、不採算店舗の閉鎖に係わる損失等を含め特別損失を2億70百万円計上したことなどにより、四半期純利益は前年同期比140.3%増の93百万円となりました。

(2) 財政状態の分析

当第2四半期連結会計期間末の財政状態につきましては、前連結会計年度末と比較して総資産は11億79百万円の増加となりました。これは主に現金及び預金の増加、未収入金、敷金及び保証金の減少等によるものであります。

負債につきましては、11億7百万円の増加となりました。これは主に買掛金、未払金の増加等によるものであります。

純資産につきましては、71百万円の増加となりました。これは主に利益剰余金の増加等によるものであります。

(3) キャッシュ・フローの状況の分析

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物の四半期末残高は、前連結会計年度末と比べ16億6百万円増加し、21億75百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益が1億68百万円となり、仕入債務及び未払金の増加等の要因により、20億17百万円の収入（前年同四半期連結累計期間は10億92百万円の収入）となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、主として有形固定資産の取得による支出等により、1億78百万円の支出（前年同四半期連結累計期間は4億98百万円の支出）となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、ファイナンス・リース債務の返済による支出等により、2億31百万円の支出（前年同四半期連結累計期間は1億82百万円の支出）となりました。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(5) 研究開発活動

該当事項はありません。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	30,000,000
計	30,000,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間 末現在発行数(株) (平成25年8月31日)	提出日現在 発行数(株) (平成25年10月11日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	7,707,095	7,707,095	東京証券取引所 (市場第二部)	単元株式数は100株であります。
計	7,707,095	7,707,095		

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金 増減額 (百万円)	資本準備金 残高 (百万円)
平成25年6月1日～ 平成25年8月31日		7,707,095		1,396		1,645

(6) 【大株主の状況】

平成25年8月31日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(株)JMK瑞穂	東京都世田谷区玉川田園調布2-2-14	2,702	35.06
菊池 淳司	東京都世田谷区	384	4.99
中居 京子	東京都世田谷区	317	4.11
宇佐見 瑞枝	東京都大田区	264	3.42
(株)スリーエフ	横浜市中区日本大通17	132	1.71
スリーエフ従業員持株会	横浜市中区日本大通17	119	1.54
(株)みずほ銀行 (常任代理人 資産管理サービス信託銀行(株))	東京都千代田区丸の内1-3-3 (東京都中央区晴海1-8-12晴海アイランド トリトンスクエアオフィスタワーZ棟)	108	1.41
中居 勝利	東京都世田谷区	102	1.33
菊池 瑞穂	東京都世田谷区	101	1.31
(株)三菱東京UFJ銀行	東京都千代田区丸の内2-7-1	89	1.16
計	-	4,322	56.09

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成25年8月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 132,100		
完全議決権株式(その他)	普通株式 7,568,700	75,687	
単元未満株式	普通株式 6,295		
発行済株式総数	7,707,095		
総株主の議決権		75,687	

【自己株式等】

平成25年8月31日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 株式会社スリーエフ	横浜市中区日本大通17	132,100		132,100	1.71
計		132,100		132,100	1.71

2 【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期累計期間における役員の異動はありません。

第4 【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間(平成25年6月1日から平成25年8月31日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成25年3月1日から平成25年8月31日まで)に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツにより四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	871	2,478
加盟店貸勘定	1,047	1,162
商品	305	276
貯蔵品	8	8
未収入金	1,057	905
その他	746	730
貸倒引当金	4	3
流動資産合計	4,031	5,557
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,181	2,076
リース資産(純額)	1,370	1,500
その他(純額)	884	879
有形固定資産合計	4,436	4,457
無形固定資産		
ソフトウェア	492	424
その他	60	60
無形固定資産合計	553	485
投資その他の資産		
敷金及び保証金	6,606	6,387
その他	491	402
貸倒引当金	20	10
投資その他の資産合計	7,078	6,778
固定資産合計	12,067	11,721
資産合計	16,099	17,278

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年8月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	4,043	4,753
加盟店借勘定	17	50
リース債務	399	463
未払金	933	1,173
未払法人税等	33	63
預り金	2,428	2,430
賞与引当金	232	241
その他	41	37
流動負債合計	8,129	9,213
固定負債		
リース債務	1,082	1,159
役員退職慰労引当金	23	18
資産除去債務	892	886
その他	759	717
固定負債合計	2,757	2,781
負債合計	10,887	11,995
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,396	1,396
資本剰余金	1,645	1,645
利益剰余金	2,095	2,166
自己株式	86	86
株主資本合計	5,051	5,122
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	8	8
その他の包括利益累計額合計	8	8
少数株主持分	152	153
純資産合計	5,212	5,283
負債純資産合計	16,099	17,278

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】
【四半期連結損益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)
営業収入		
加盟店からの収入	5,761	5,245
その他の営業収入	1,877	1,751
営業収入合計	7,639	6,997
売上高	5,337	5,152
営業総収入合計	12,976	12,149
売上原価	3,919	3,746
営業総利益	9,057	8,403
販売費及び一般管理費	¹ 8,687	¹ 8,015
営業利益	369	387
営業外収益		
受取利息	41	40
還付加算金	-	9
その他	5	5
営業外収益合計	47	56
営業外費用		
支払利息	12	17
減価償却費	1	8
その他	0	5
営業外費用合計	14	31
経常利益	402	412
特別利益		
受取補償金	-	25
特別利益合計	-	25
特別損失		
減損損失	113	151
店舗閉鎖損失	179	112
その他	6	6
特別損失合計	299	270
税金等調整前四半期純利益	102	168
法人税、住民税及び事業税	97	20
法人税等調整額	36	51
法人税等合計	60	71
少数株主損益調整前四半期純利益	42	96
少数株主利益	3	2
四半期純利益	38	93

【四半期連結包括利益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	42	96
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2	0
その他の包括利益合計	2	0
四半期包括利益	40	95
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	36	92
少数株主に係る四半期包括利益	3	2

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	102	168
減価償却費	546	471
減損損失	113	151
のれん償却額	3	-
店舗閉鎖損失	179	112
受取補償金	-	25
役員退職慰労引当金の増減額（は減少）	-	5
貸倒引当金の増減額（は減少）	5	10
受取利息及び受取配当金	42	41
支払利息	12	17
加盟店貸勘定の増減額（は増加）	94	115
未収入金の増減額（は増加）	82	8
たな卸資産の増減額（は増加）	19	28
前払費用の増減額（は増加）	23	39
その他の流動資産の増減額（は増加）	15	2
仕入債務の増減額（は減少）	485	709
未払金の増減額（は減少）	39	208
預り金の増減額（は減少）	200	2
未払消費税等の増減額（は減少）	13	74
その他の流動負債の増減額（は減少）	22	37
その他	7	6
小計	1,276	1,820
利息及び配当金の受取額	42	41
利息の支払額	12	17
補償金の受取額	-	43
法人税等の支払額	213	12
法人税等の還付額	-	142
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,092	2,017
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	238	146
敷金及び保証金の差入による支出	255	32
敷金及び保証金の回収による収入	198	223
無形固定資産の取得による支出	145	61
その他	57	162
投資活動によるキャッシュ・フロー	498	178
財務活動によるキャッシュ・フロー		
ファイナンス・リース債務の返済による支出	127	207
配当金の支払額	53	22
少数株主への配当金の支払額	1	1
その他	0	0
財務活動によるキャッシュ・フロー	182	231
現金及び現金同等物の増減額（は減少）	412	1,606
現金及び現金同等物の期首残高	1,601	568
現金及び現金同等物の四半期末残高	¹ 2,013	¹ 2,175

【注記事項】

(四半期連結損益計算書関係)

1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は、次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)
従業員給料及び賞与	1,067百万円	1,005百万円
賞与引当金繰入額	242 "	241 "
運送費及び保管費	1,494 "	1,382 "
地代家賃	2,395 "	2,244 "

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は、次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)
現金及び預金	2,316百万円	2,478百万円
預入期間が3か月を超える 定期預金	302 "	302 "
現金及び現金同等物	2,013百万円	2,175百万円

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自 平成24年3月1日 至 平成24年8月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年4月19日 取締役会	普通株式	53	7.00	平成24年2月29日	平成24年5月10日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年10月11日 取締役会	普通株式	22	3.00	平成24年8月31日	平成24年11月1日	利益剰余金

当第2四半期連結累計期間(自 平成25年3月1日 至 平成25年8月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年4月18日 取締役会	普通株式	22	3.00	平成25年2月28日	平成25年5月9日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年10月10日 取締役会	普通株式	22	3.00	平成25年8月31日	平成25年11月1日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成24年3月1日至平成24年8月31日)及び当第2四半期連結累計期間(自平成25年3月1日至平成25年8月31日)

当社グループは、コンビニエンスストア事業の単一セグメントであるため、記載を省略していません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)
1株当たり四半期純利益金額	5円14銭	12円35銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益(百万円)	38	93
普通株主に帰属しない金額(百万円)		
普通株式に係る四半期純利益金額(百万円)	38	93
普通株式の期中平均株式数(千株)	7,574	7,574

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載していません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

平成25年10月10日開催の取締役会において、平成25年8月31日の株主名簿に記録された株主に対し、次のとおり期末配当を行うことを決議いたしました。

配当金の総額	22百万円
1株当たりの金額	3円00銭
支払請求権の効力発生日及び支払開始日	平成25年11月1日

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年10月9日

株式会社スリーエフ
取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 三 富 康 史 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 郷 右 近 隆 也 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社スリーエフの平成25年3月1日から平成26年2月28日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間(平成25年6月1日から平成25年8月31日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成25年3月1日から平成25年8月31日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社スリーエフ及び連結子会社の平成25年8月31日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。
以上

- (注) 1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
2 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。